

要人往来

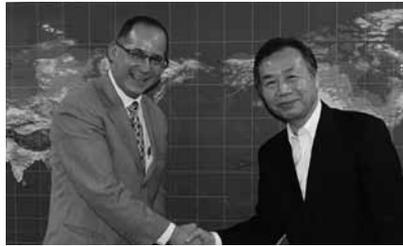
JATAが実施した2015年6月期第1回旅行市場動向調査によると海外旅行DIは-36となり3月期に比べて2ポイントの回復を示しました。3カ月後(7~9月)の見通しでもテロの影響などで低迷気味のヨーロッパも含めて改善傾向が現れており夏休みを機に需要拡大へ期待が膨らんでいます。



デービッド・イゲ ハワイ州知事(中央左)を囲んで。中央右は田川会長



ピンセン・スィウス・ジェマドゥ インドネシア観光省・太平洋地域促進ディレクター(左から4人目)。その左は中村理事長



中村理事長(右)と握手するリッテル・ディアス 駐日パナマ大使



アンドリヤナ・ツヴェトコビッチ 駐日マケドニア大使



ホン・ドン・ホ 駐日韓国公使

「美しい村」を機に日本で観光促進 マケドニア 6月19日(金)

アンドリヤナ・ツヴェトコビッチ 駐日マケドニア大使

中村理事長を訪問し、「古代の遺跡をはじめ料理や祭りなどマケドニアには観光資源が豊富にあり、日本で観光促進を図りたいと考えているので、JATAの協力をお願いしたい」と要請。中村理事長らは、「マケドニアはまだ日本でよく知られていないので、認知度を高める必要もあるが、Team EUROPEの『美しい村30選』でオフリドが選ばれており、この機会も踏まえて旅行業界向けのセミナーを実施し、ツーリズムEXPOジャパンで一般旅行者向けにPR活動を行ってください」とアドバイスしました。

6月27日以降はMERS確定患者は発生せず 韓国 7月1日(水)

ホン・ドン・ホ 駐日韓国公使

中村理事長らと面談し、韓国におけるMERSの現状とWHOの調査結果を伝達。「MERS確定患者数は6月7日を境に減少しており、6月27日以降は新たな確定患者は発生していない。WHOは旅行または貿易制限の適用を勧告しておらず、入国時の検疫は不要と評価している」と説明しました。中村理事長らは、「WHOによる終息宣言が出た時点で、日本だけでなく主要市場を対象に観光促進活動を実施すれば良いと思います」と応じました。

ツーリズムEXPOジャパンでの出展を拡大 インドネシア 7月8日(水)

ピンセン・スィウス・ジェマドゥ インドネシア観光省・太平洋地域促進ディレクター

中村理事長らを訪問し、「日本は最重要5大市場の一つとして位置付けられており、インドネシア政府は6月にビザを免除した。来年度から日本での促進活動を強化する予定で、ツーリズムEXPOジャパンでの出展を拡大し、日本のメディアにおける露出強化も図ります」と意欲を表明。中村理事長らは、ビザ免除への謝意を伝える一方、「日本の旅行業界にとっても、インドネシアは重要なデスティネーションの一つであり、今後のさらなる観光開発や市場拡大に協力していきたい」と約束しました。

日本人旅行者の維持・拡大へ様々な事業を展開 ハワイ 6月19日(金)

デービッド・イゲ ハワイ州知事

田川会長を訪れ、「ハワイ政府として日本からの旅行者数を維持・拡大するため、様々な事業を展開しており、持続可能なグリーンエネルギー発電のため、日本企業による発電所建設などを増やしていきたい」と語り、「現在の成田空港からのプレクリアランスについても、今後、他の空港からでもできるように国土安全保障省に要請していく予定だ」と説明。田川会長らは、「これからも日本人旅行者の関心を維持するために、新しいテーマツアーを提供する必要がある。旅行業界としては、グリーン・ハワイというテーマをはじめ、様々な体験ができるツアーを開発していきたいので、知事やハワイ政府の力添えをいただきたい」と協力を求めました。

日本／パナマ間の直行便交渉も パナマ 7月8日(水)

リッテル・ディアス 駐日パナマ大使

中村理事長らを訪れ、日本における観光や貿易促進戦略などについて懇談。「“ツーリズムEXPOジャパン2015”での出展に当たり、パナマ観光セミナーを開催する予定だ。日本人旅行者はまだ少ないが、日本の企業との事業を拡大することで、日本人旅行者も増えると思う」と期待を表明。「日本とパナマの間で交渉されている直行便が実現すれば、アジアと南米の交流も広がり、パナマの大自然と豊富な文化遺産を生かしたエコツアーやカルチャーツアーも提供できる」と説明しました。中村理事長は、「パナマ観光セミナーを通じて旅行会社が求める情報を提供し、メディアを通じてパナマの認知度を高め、観光資源や安心安全に関する情報を積極的に発信してください」とアドバイスしました。